

二次評価比較表(案)

資料番号4

評価項目	評価内容	評価			配点	上野原地区① (9.84ha)			上野原地区② (38.47ha)			上野原地区③ (3.16ha)		
		A	B	C		内容	評価	評価点	内容	評価	評価点	内容	評価	評価点
		(5点)	(3点)	(1点)										
① 運搬道路の改修規模	搬入・退出ルートとなるアクセス道路の改修の規模(各建設候補地の中心部分までの距離)	小さい	中位	大きい	5	急傾斜地であり、かつ道路新設の必要あり。県道水沢足門線からの距離440m。 ※県道水沢足門線から新設路線を利用した搬入ルートを想定	C	1	町道はあるが、拡幅及び改修の必要あり。県道水沢足門線からの距離750m。 ※県道水沢足門線から町道1149号線を利用した搬入ルートを想定	B	3	町道はあるが、拡幅及び改修の必要あり。県道水沢足門線からの距離810m。 ※県道水沢足門線から町道1167号線を利用した搬入ルートを想定	B	3
② 造成規模	造成の形態による容易性・施工規模(土地の起伏や現況等)	小さい	中位	大きい	5	急傾斜地であり、切土・盛土・伐採も含め大規模な造成の必要あり	C	1	比較的勾配があり、切土・盛土、伐採も含め相応の造成の必要あり	B	3	比較的勾配があり、切土・盛土も含め造成の必要はあるが、伐採の必要がないことから規模としては小さい	A	5
③ 雨水排水路整備規模	下流側排水路の有無と改修整備の必要性の有無	小さい	中位	大きい	5	支川や側溝等がなく、新設での整備の必要あり	C	1	改修や整備の必要があるものの、支川があり、大規模とはならない	B	3	改修や整備の必要性はあるものの道路側溝があり、規模としては小さい	A	5
④ 森林法対象民有林	森林法における開発規制の手続きの対象となる民有林の該当の有無	該当なし	該当する可能性あり	該当あり	5	区域内の全域が対象地域であるため、該当あり	C	1	区域内の大部分が対象地域であるため、該当する可能性あり	B	3	区域内に対象民有林なし	A	5
⑤ 農業用水管等の地下埋設物	候補地内の農業用水管等の埋設状況	該当なし	-	該当あり	5	現地調査したところ、管路を確認(自害沢用水路、堂の沢用水路)	C	1	該当なし	A	5	群馬用土地利用改良区管理の管路を確認	C	1
⑥ 近隣市町村への影響	候補地と近隣市町村の接地又は近接に対する調整の必要性	低い	中位	高い	5	候補地の南側部分が棟東村に隣接しているため、棟東村及び住民への説明・調整等の必要あり	C	1	近隣市町村との接地なし	A	5	候補地の南側部分が棟東村に隣接しているため、棟東村及び住民への説明・調整等の必要あり	C	1
⑦ 周辺整備の可能性	候補地周辺の地域振興に係わる施設整備の可能性	高い	中位	低い	5	想定される施設面積を除くと、候補地の残地面積が7.34haと広いが、周辺の状況や施設までのアクセス等を考えた場合、建設候補地内における処分場以外の施設整備の可能性は高いとは言えない	B	3	想定される施設面積を除くと、候補地の残地面積が35.97haと広く、候補地内で処分場以外の施設整備の可能性は高い	A	5	想定される施設面積を除くと、候補地の残地面積が0.66haと狭く、候補地内で処分場以外の施設整備の可能性は低い	C	1
⑧ 水道水源施設の有無	候補地外周500m以内で水道水源施設の有無	なし	あり(稼働なし)	あり	5	棟東村内に施設(長岡浄水場)は確認できたが、稼働していない	B	3	なし	A	5	棟東村内に施設(桃広小水道浄水場)は確認できたが、稼働していない	B	3
⑨ 生活圏(集落)近接度	候補地と周辺集落との距離(生活圏と認められる集落との距離で事務所は含めない)	300m以上	300~100m	100m未満	5	約203m	B	3	約100m	B	3	約100m	B	3
⑩ 搬入ルート上の支障	搬入ルートを拡幅する上での支障となる規模	小さい	中位	大きい	5	新設等の必要があるが、施工時における近隣住民等への影響は小さい ※県道水沢足門線から新設路線を利用した搬入ルートを想定	A	5	拡幅等の必要があり、かつ対象となる道路は生活道路ではないものの施工時における近隣住民等への相応の影響あり ※県道水沢足門線から町道1149号線を利用した搬入ルートを想定	B	3	拡幅等の必要があり、かつ対象となる道路については生活道路であるため、影響は大きい ※県道水沢足門線から町道1167号線を利用した搬入ルートを想定	C	1
⑪ 景観等への影響	立地による周辺地域からの景観等への影響	小さい	中位	大きい	5	山林に囲まれた地区であり、周辺集落からの距離を考慮しても、影響は小さい	A	5	建設場所によっては集落からの距離が近い場合もあるが、比較的影響は小さい	B	3	周辺が開けた農地が大部分であり、景観や近隣農地へ与える影響が大きい	C	1
⑫ 農業振興地域	農業の発展に必要な措置が集中的に行われている地域	該当なし	一部あり	該当あり	5	農業振興地域外のため、該当なし	A	5	候補地内の一部が農業振興地域(青地)	B	3	候補地内全域が農業振興地域(青地)	C	1
⑬ 災害の危険性	土地の土砂災害・浸水被害発生危険性	低い	中位	高い	5	土砂災害警戒区域などには該当していないものの、昨今の自然災害の発生状況等を考慮した場合、急傾斜地である当該地区の災害発生危険性は比較的高いと思われる	C	1	土砂災害警戒区域などには該当しておらず、昨今の自然災害の発生状況等を考慮した場合、比較的勾配があるが、現況を踏まえると当該地区の災害発生危険性は低いと思われる	B	3	土砂災害警戒区域などには該当しておらず、昨今の自然災害の発生状況等を考慮した場合、比較的勾配があるが、現況を踏まえると当該地区の災害発生危険性は低いと思われる	A	5
⑭ 活断層との距離	推定される活断層との距離(関東平野北西縁断層帯主部)	500m以上	500~50m	50m未満	5	約11.3km	A	5	約12.1km	A	5	約11.5km	A	5
⑮ 鳥獣保護区	鳥獣保護区の該当の有無(令和3年度鳥獣保護区等位置図(群馬県作成)より)	該当なし	一部あり	該当あり	5	該当なし	A	5	該当なし	A	5	該当なし	A	5
⑯ 植生自然度	既存資料による周辺の貴重植物への影響(植生自然度(環境省作成より))	1~3	4-7	8-10	5	区域内における植生自然度の最高値が7(二次林)	B	3	区域内における植生自然度の最高値が7(二次林)	B	3	区域内における植生自然度の最高値が2(外来種草原、農耕地(水田、畑))	A	5
⑰ 候補地土地利用	候補地の土地利用現況	荒野・開発済	農地	山林	5	区域内全域が山林	C	1	区域内の大部分が山林	C	1	区域内全域が農地	B	3
⑱ 地盤条件	候補地の地盤状況(掘削面付近)	岩盤層	礫層	軟弱層	5	礫層であり、地盤改良等の必要性はあるものの、施工の規模としては比較的小さい	B	3	礫層であり、地盤改良等の必要性はあるものの、施工の規模としては比較的小さい	B	3	礫層であり、地盤改良等の必要性はあるものの、施工の規模としては比較的小さい	B	3
⑲ 運搬距離	清掃センターからの距離(各建設候補地の中心部分までの距離)	5km未満	5~10km	10km以上	5	3.9km	A	5	4.2km	A	5	4.3km	A	5
⑳ 給水水源の確保	場内利用のための水源の確保	容易	中位	困難	5	上水道より給水可能ではあるが、急傾斜地でもありポンプアップ等の施工が必要	C	1	上水道より給水可能	A	5	上水道より給水可能	A	5
二次評価 合計点数					100	54.00			74.00			66.00		